

——ばかり、リラックスコンサートの魅力とは何でしょうか。

山本 ホールでのコンサートの王道である生音だと思います。圧倒的なオーケストラの迫力ですね。それを低価格で市民に提供できるというのはすごく大きな財産。最初はリラックスコンサートに熱心でなかった市民の

——アーティストの迫力とマニアックな楽しみも…



山本之彦 Yukihiko Yamamoto
野洲文化ホール事業担当

伝つてくれる。みんなかわいくてね。それからいつもアンコールで「当地ゆかりの『琵琶湖周航の歌』をやるんです。そしたらみんな歌いだすんですよ。それがまた何とも言えず、高島に来てるなあ(笑)」。

北村 リラックスは、癒やしと元気を与えてくれるコンサートとして、今では多くの市民の皆さんが毎年の公演を楽しみにしてくださっていて、私たち職員もおもてなしの心と笑顔を忘ることなく、末永く続けていきたいなと思っています。

——野洲市に近い野洲や人口の多い長浜と違つて、高島は人口5万人の地域で、他の市町村からも離れた地域があるので、今までオーケストラを聞いたことがない方にどうやってコンサートに来いただかが課題だったんです。関西フィルさんが来てくれるようになって、藤岡さんと司会の方とのトー

人たちも毎年楽しみにされていて、リピーターの方が多い。マニアックな見方をされるお客様もいて、「藤岡さんは正面から見て男前なのは誰でもわかる」と。ぜひ藤岡さんの後姿を見てください」と。初めて会ったお客様同士がそんなお話をされていて、野洲もだいぶそういう方向に来てるんだな(笑)。

藤岡 どういう方向やねん(笑)。

中川 大都市に近い野洲や人口の多い長浜と違つて、高島は人口5万人の地域で、他の市町村からも離れた地域があるので、今までオーケストラを聞いたことがない方にどうやってコンサートに来いただかが課題だったんです。関西フィルさんが来てくれるようになって、藤岡さんと司会の方とのトー

クが楽しく、「コンサートがアットホームな感じですぐく親しみが湧くようになった今まで聴いたことがないようなコンサートの雰囲気が好評で、高島でもお客様が根付いていった

藤岡 リラックスと謳っているのは、クラシックはそんなに難しくない、肩肘張らずに来てくださいという意味もあるんですよ。どのホールもオーケストラの音がすごい迫力でダイレクトに感じる事ができますし、関西フィルの演奏はひょろに色彩豊か。3会場ともまったく違ったプログラムで、曲が少しマニアックな時で多くのお客様が来てくれるんだから、本当にすばらしいですよ。

中川 最初のころ、関西フィルさんにみんな知っている曲をプログラムに入れてくださりと言つていてなんです。だけど知つていて、お客様が好きな曲だけではないことわかつた。知らない曲でもいい曲がたくさんある。そういう曲を演奏会の中に入れて、お客様に新たな発見をしてもらおう。そんなコンサートにしていけたらなとも思っています。

——昨年、高島公演での「新世界」がよくで演奏を入れながら藤

岡さんがレクチャーする音楽講座は新鮮でした。ここはこういう場面の情景ですよ、というお話を実際の音とリンクするところまで、新しい発見があると思います。

中川 例えば、当日あまり知られていない名曲をオーケストラ団員の方がプレゼンして、お客様の拍手で演奏する曲を決めるといつもの面白いんじゃないかな。

藤岡 団員がプレゼンするの!? その企画、面白いね(笑)。ぜひやろうよ。

北村 長浜では次の時代を担う子どもたちが地域の伝統や文化を継承しながら、自信と誇りを持つて世界へ羽ばたいていくは子どものころから芸術文化に親しむための土壤づくりが特に必要じゃないかと思つて、面白い大きな夢があります。そのためには子どものころから芸術文化に親しむための土壤づくりが特に必要じゃないかと思つて、いまして、2年前から市内中学校の吹奏楽部の生徒を対象に関西フィルの皆さんにお話になりました。そして、10月に開催します。この交流会には、関西フィルの楽団員に参加いただき、プロの演奏家との交流も大切にしていきました。

*1 当日の最終練習 *2 老朽化のため2008年閉館

History & Legend 今新たな伝説が生まれる

KEIBUN30周年記念という節目を飾る今シーズンの「リラックスコンサート」は、長浜公演、野洲公演、高島公演の会場となる各会館のご協力のもと、集大成的プログラムを予定しています。今回はこの3会場のキーパーソンが集い、指揮者・藤岡幸夫氏を囲んで「リラックスコンサート」について熱く語っていただきました。



指揮者・藤岡幸夫氏を囲んで リラックス・サミット

参加者
関西フィル首席指揮者 藤岡幸夫さん
野洲文化ホール事業担当 山本之彦さん
長浜文化芸術会館館長・事業担当 北村敏雄さん
高島市民会館館長 中川肇さん
司会・司会室(しがきん経済文化センター・プロデューサー)



藤岡幸夫 Sachio Fujioka
藤島義美大大学部卒業後に渡英し、英国王立ノーザン音楽大学指揮科に入学。英学金特待生に選ばれ、最も才能ある若手指揮者に贈られる「サー・チャーチル・グローヴス記念奨学生賞」を受賞。1993年BBCフィルの定期演奏会が「タイムズ紙などで高く評価される」と、1994年にはロンドン夏の風物詩「プロムス」にBBCフィルを指揮してアビュウ。大成功を収め、以降ロイヤル・フィル、ロイヤル・フィルハーモニー・フィルなど数多くの海外オーケストラに招演。2007年より関西フィル首席指揮者。関西フィルとは毎年40公演以上で共演。その一体感があふれる演奏は常に聴衆を魅了し、高い評価を得ている。2012年大晦日のテレビ東京系全国ネット「東急ジル・スター・コンサート」でのカウントダウン大成功の模様は、大きな反響を呼んだ。NHK大河ドラマ「平清盛」の劇中音楽の指揮など、活躍の場は枚挙に暇がない。公式ファンサイト <http://www.fujioka-sachio.com/>

「リラックス」スタート その時、伝説が生まれた！

——野洲は今回で17回目、長浜が12回目、高島が記念すべき10回目を迎えます。まずリラックスコンサートの歴史を振り返りたいと思いますが、当初から直接携わっていたただいた野洲文化ホールの山本さんからお話をいただけますか。

山本 リラックスコンサートと私のホール職員としての歴史がびつたりリンクしていく、20年近く一緒にやらせていただけています。

最初は「香」をテーマに、ホールに入った瞬間アロマの香りがする仕掛けをしてみたり、いろいろ思い出がありますね。3回目から藤岡さんに来ていただけたようになり、集客もぐいぐい伸びてきて、今ではホールのイベントの中でも野洲市民に人気の大好きな公演になっています。

藤岡 最初は本当にリラックスするような曲だけを選んでいたんだよね。それが今では激しいプログラムばかり(笑)。

藤岡 最初は本当にリラックスするような曲だけを選んでいたんだよね。それが今では激しいプログラムばかり(笑)。

——その翌年2004年から高島でも公演がスタートしました。

中川 こちらはそういう印象的なエンジェントはまたなくて(笑)。高島はリラックスコンサートが始まる前、10年ほどオーケストラの公演が遠のいていました。そこでKEIBUNさんがお話をいたして、始めるようになったんですけど。なかなか他の会館さんみたいに全席完売まではまだいかなくて。

山本 でもね、お客様は確実に増えていますよ。なんたつてここにしかない味がある。地元の高校生たちがボランティアで受付を手

て、歯の抜けている顔を奏者に見せて「こういう音をください」と。その時の「ダッタン人の踊り」はすごい音がしてさ笑。

山本 もう伝説ですね。でもあの状態で終演まで導いてくださったのは本当にすごいなと思いました。

北村 長浜の公演は2003年から、長浜市民会館でスタートしました。この会場には備え付けの本格的な反響板がなく、当時、藤岡さんが下見に来館されたときに「反響板がなきゃダメだよ」と一言。予算がなく、職員が試行錯誤して合板を組み合わせて手づくりで反響板らしきものを製作したことを覚えています。結構日数がかかり、塗装が間に合わなくて。

藤岡 木がむきだしだった。あれはあれで良かったです(笑)。スタッフの皆さんの熱意が伝わってきてとても感動しました。



中川肇 Hazimu Nakagawa
高島市民会館館長

成のための音楽合宿ができればと思っていて、ぜひその時には藤岡さんに塾長としてお願いします。

山本 ● 野洲は17年目を迎えますが、ます20年目までを無事に迎えたいですね(笑)。将来は2日間公演が実現できたら、それはすごいイベントになると思います。

長浜、野洲、高島をめぐり 3つのホールの個性を楽しむ

— 最後に今年の公演に向けて、お客様へのメッセージをいただけますか。

北村 ● 長浜の場合は、すでに市民の皆さん

が毎回楽しみにされている定番のコンサートとして、今回は会場を変え、さらに新たに試み、アイデアも取り入れながら、一層盛り上げていきたいと思います。

山本 ● これは野洲文化ホールの売りです

が、たくさんの親子席(72席)をご用意しています。クラシックコンサートですと未就学児のお子さまに会場に入っていただけないところが多いのですが、堂々と親子席で見ていただけます。ぜひ親子連れのお客さまにもたくさん来ていただきたいですね。

中川 ● いろいろな企画を関西フィルさんにやつていただいて、お客さまと演奏者の方が同じ時間と空間を共有し、その喜びを噛み締めて帰つてもらえるようなコンサートにしていきたいと思っています。



リラックスコンサートの歴代ポスターの前で(左から山本、北村、藤岡、中川、宅間)

藤岡 ● 各会場からいろんなアイデアをお出

しいただいて、それぞれの個性があつてすご

くいいと思う。各会場の考え方、方向性と一層3つのホールの個性をはっきりさせて、より

もいいんじゃないかな。このリラックスコンサートは行く会場によつてまったく別の楽し

み方ができるわけだから。それは演奏者としてもすごく楽しみですよね。こういうこと

が言えるのも10年以上毎年おつきあいさせていただいているから。本当にありがたいです。藤岡も年とったなと思われないよう

(笑)、熱意だけはいつまでも持ち続けて、新しい挑戦をしていきたいですね。

— 今年もリラックスコンサートが楽しみですね。皆さんありがとうございました。

25ページの「Reader's Letters」では「リラックスコンサートの思い出」をテーマにおたよりを紹介しています。

information ~8月から10月の毎月第1日曜はリラックスコンサートに行こう~

KEIBUN30周年記念感謝祭 プレミアム・リラックス

● 関西フィルハーモニー管弦楽団 リラックスコンサート2014 ●

●ねっとも優先受付 6/18(水)9:30~ ●友の会優先電話受付 6/20(金)9:30~ ●一般発売 6/21(土)

4258 » 長浜公演

NAGAHAMA

8月3日(日)17:00開演

長浜文化芸術会館 一般4,000円

Program

☆ウェルカムコンサート(16:20~)

シネマ特集

「さよならをもう一度」より ブラームス:交響曲第3番第3楽章、
「シェルプールの雨傘」、「バイレーツ・オブ・カリビアン」他

名曲! のどかで明るく田園的、

ドヴォルザークの自信作

ドヴォルザーク:交響曲第8番ト長調「イギリス」

※末就学児のご入場はお断りいたします(野洲公演親子席をのぞく)。
※出演者、曲目、曲順等やむを得ない事情により変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

3公演すべてのお申し込み・お問い合わせ

しがきん経済文化センター

TEL.077-526-0011 ☎ 0120-077-516

(平日9:30~17:00)

<http://www.keibun.co.jp>

検索

4251 » 野洲公演

YASU

9月7日(日)15:00開演

野洲文化ホール

SS席(サチオシート)4,000円
一般3,500円、親子席1,500円

Program

☆ウェルカムコンサート(14:20~)

華麗なるイタリア・オペラの世界!

ロッシーニ:「セヴィリアの理髪師」序曲

マスカーニ:「カヴァレリア・ルスティカーナ」より間奏曲

ヴェルディ:「アイーダ」より凱旋行進曲

共演:野洲市内有志によるファンファーレ隊

ヴェルディ:歌劇「椿姫」ハイライト

《第1幕》前奏曲、乾杯の歌

《第2幕》燃える心を、プロヴァンスの海と陸

《第3幕》さようなら、パリを離れて、

これは私の形見 他

ヴィオレッタ:栗原未和、アルフレード:二塚直紀

ジェルモン:萩原寛明

4260 » 高島公演 第10回記念

10月5日(日)14:30開演

高島市民会館

1階席(指定席)3,500円

2階席(自由席)3,000円

高校生以下(1、2階共通)2,000円

Program

☆ウェルカムコンサート(13:50~)

新企画! 関西フィル団員が知られざる名曲の魅力を猛アピール!

笑いありのプレゼン勝負!

「どっちが聴きたい!? 選んでみまSHOW!!」

ファンファーレ隊と祝砲で

第10回記念を華やかに祝う

チャイコフスキイ:大祝典序曲「1812年」

共演:高島市内有志によるファンファーレ隊